

キーノートスピーチ  
しなやかな地域活性化を目指して

2009/09/04

モバイル社会研究所

遊橋 裕泰



衆議院選挙とかけて、  
「三国志演義」ととく、  
そのところは？



# 中国・漢の人材任用制度

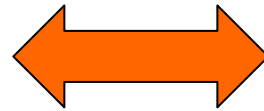
時は漢の時代、国の政を行う官吏任用は2系統からなる人事システムであった。

## 任子制

一定レベル以上の官僚の子弟を新規の官僚に任命する官吏任用法。

## 郷挙里選

地方官や地方の有力者が管内の優秀な人物を推薦する官吏任用法。



競争させつつ  
均衡させる

この郷挙里選の社会システムが、「**選挙**」の語源。

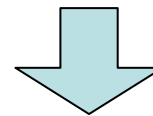


# 中国・漢の社会システム衰退の一因

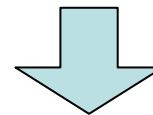
東海大学文学部 知のコスモス



「上品に寒門無し、下品に勢族無し」  
(上級官僚に身分の低い家の者は居ない、  
下級官僚に勢いのある一族の者は居ない。)



権力を均衡させるだけでは硬直化



ダイナミズムを内包したしなやかな  
社会システムが求められる

# 三国時代：漢滅亡後の処方箋

三国志演義の魏・蜀・呉を地域社会に置き換えると…、英雄たちはいかにして硬直化した社会システムの打開を図ったのか？

**曹操**：後漢・黄巾賊の乱で名を上げ、献帝を奉じて政権を握った。赤壁（魏）の戦いで大敗を喫するが、復興させて魏を建国した。

**劉備**：桃園の近いから関羽・張飛と義兄弟の誓いを結び、孔明を軍師に（蜀）迎えた。三国争覇の末、蜀を建国した。

**孫権**：孫堅、孫策の後を継ぎ江東を平定した。劉備と同盟して赤壁の（呉）戦いで曹操を破る。外交に優れ、呉を建国した。



# 曹操と劉備のマネジメントスタイル

曹操は「漁師のマネジメント」  
経営資源や技術・ツールを利用し、富を手の  
獲得を目指すマネジメントスタイル。

*ノードのパフォーマンスが重要*

劉備は「庭師のマネジメント」  
経営資源を育て、富を創造し、人々に富を  
提供することを目指すマネジメントスタイル。

*リンクの創造性が重要*



\* 参考: 成君憶『漁夫与管理学』新華出版、2005年。



# ヴァルネラビリティと編集

劉備は、優れた知力や人並み外れた身体能力があったわけではない。自らの欠点を自覚し、人に仕事を任せることができる度量があった。

桃園結義、三顧の礼・・・劉備はリンクによって力を得た！

劉備と「水魚の交わり」を持つ孔明は、関羽・張飛・趙雲などスター級部下をコーディネートし、どのような逆境をも跳ね返す策を講じてきた。



**キーワード： ヴァルネラビリティ(誘発力)と編集**

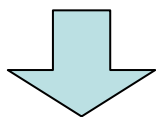


# リンクの力と社会システム

蜀の強さの源は、人と人とのリンクから生まれるコラボレーションを引き出す編集と、組み合わせさせて全体が機能する社会システムにある。



情報社会に対して、一人に対峙する強さを持ち合わせている人は少ない…、メディア環境を利用して人々がつながりあい、緩やかな専門性を持って、しなやかな社会システムが構築できないか？



理論的考察では、リンクの効果は計り知れない。  
あとは、どのように地域で実践するか課題だろう。



# マスメディアとパーソナルメディア

**場の提供をおこなうマスメディア**  
コミュニティFM、CATV市民チャンネル、地域紙、フリーペーパー、  
タウン誌、自治体広報誌など。

**場への適応を促すパーソナルメディア**  
パソコン、携帯電話など。  
時空間を越えるコミュニケーションや  
モビリティは、人々のコミュニティ参画に  
対する「適応度」を変化させるのでは  
ないか？



情報通信技術の進展で  
メディアのあり方が変わった。  
今、人々が豊かな生活を享受  
できる地域の活性化とは？





**ご静聴ありがとうございました。**

